

なんじゃもんじゃ地域版

上対馬病院基本理念

地域の健康な生活を守る使命の達成のため
職員ひとりひとりが自覚と責任を持ち
心のふれあいのある
患者様の側に立った医療の実践を行なう

発行:上対馬病院地域連携室・広報部 ホームページ <http://www.kamibyō.jp>

年 頭 挨拶

明けましておめでとうございます。なんじゃもんじゃ地域版の読者の皆様には、良いお正月をお迎えのことと思います。

昨年は、日本では、尖閣諸島問題、北方領土問題など領土に係わる問題がありました。また、南北朝鮮の砲撃事件など、国境の島対馬で暮らす私たちにとりまして無関心ではいられない問題も起こってきています。

対馬の医療におきましては、現在、対馬いづはら病院と中対馬病院の合併に向けての協議が急速に進行してきています。平成22年度中に基本的な新病院構想をまとめ、さらに建設地を決定するという作業が進んできています。平成23年度は基本設計に進んでいきます。新しい病院は、今後の対馬の地域医療を担っていく病院ですから、対馬市民の重大な関心事であります。上対馬で暮らす皆様にとっても大きな問題です。今後の推移をしっかりと見守ってほしいと考えます。



今年の上対馬病院は、新しい事業として、CTの更新を考えております。できれば、現在、対馬いづはら病院に設置しているCTとほぼ同等の機種を設置を検討中です。新しいCTが設置されますと、上対馬の医療の質の向上が図れると考えています。また、懸案事項でありました療養病棟の正式な閉鎖を、平成23年度中に終えたいと考えております。皆様のご理解をよろしくお願いします。それに伴い、透析施設の増改築を早期に着工できればと考えております。

医師の充足は困難を極め、上対馬の住民の皆様には多大なご迷惑をおかけしておりますが、今後さらにご迷惑をおかけする事態になる可能性が出てきております。医師の雇用には努力いたしておりますが、非常に困難な状態です。

今年が、皆様にとりまして良い年となりますことを祈念いたしますとともに、今年も上対馬病院をよろしく願い申し上げます。

上対馬病院長 立花 一憲

なんじゃ

あけましておめでとうございます。今年も地域の皆様が健康に一年を過ごせますように。2011年も上対馬病院、なんじゃもんじゃをどうぞよろしくお願い致します。

地域版編集長 早田 裕美